

さざなみ

須崎市教育研究所 発行
令和5年10月31日

選書会

2学期も半ばに差し掛かりました。各校におかれましては、選書会のご担当者様をはじめ、選書会のご対応ありがとうございます。

まだ小学校での選書会にしか立ち会えていませんが、好きな本を見つけて嬉しそうにする子どもたちの様子が見られて、私も嬉しかったです。「こんな本があったで!」「これ絶対面白い!」「私はこれにした!」と見つけた本を紹介してくれる児童もあり、非常に微笑ましかったです。また、子どもたちが自分のお気に入りの本を見つけて読書に没頭する姿を見ると、改めて読書の素晴らしさを感じることができました。



本から本へと蝶のように動き回って本を探す人がいました。1冊の本をじっくりと読む人もいました。1冊の本を友達と一緒に囲んで読む人もいました。およそ700冊の本に囲まれて、子どもたちは思い思いの楽しみ方をしていたように思います。

選書会の時間が終わり、整列をする際に「もっと読みたかった〜!」「時間が全然足りん〜!」と言っていたのが非常に印象的でした。選書会で選んだ本は2学期中に届くことになっています。届いた本を自分で読むのはもちろんのこと、友達や先生、保護者など、ほかの人にもおすすめするようにお声がけいただければと思います。よろしくお願いいたします。

第2回教育研究所運営委員会

10月19日に標記の会を開催しました。本会では、現段階での研究の報告をさせていただきました。会でご助言をもとに、今後の取組を進めたいと思います。

その中で、「ICTの活用を具体的にどのように行うか（ツールの紹介だけでなくどのようにツールを作成すればよいか等）も発信していけるとよい」や、「実際に学校に来てもらって、活用方法を一緒に考えたりサポート

をしたりしてもらいたい」といったご意見をいただきました。

「ICTの具体的な活用方法の発信」につきましては、この「さざなみ」でも行っていますが、実際にどのような操作をしているか、どうやって準備をしているかなどは十分に発信できていなかったと感じました。お忙しい先生方の負担にならず、かつ分かりやすく発信できるよう、方法を考えていきたいと思ひます。

「活用に係る訪問」につきましては、私も「他の先生方がどのように活用されているのか」や、「どのように活用したいと考えているのか」には興味があり、勉強させていただきたいと考えております。事前に教育研究所にご連絡をいただければ、訪問をさせていただき、一緒に準備や検討をさせていただくことも可能ですので、是非宜しくお願いいたします。

第2回不登校・不登校傾向対策委員会

10月26日には、須崎小学校教諭島崎やよい様をお招きして、標記の会を開催いたしました。現在須崎小学校で取り組んでいる「通級による指導」について、体験を交えながら具体的にお話しいただきました。

通級による指導のねらいは「在籍している学級で児童生徒が自信をもって過ごせるようにする」ことであること、「加力指導ではなく自立活動に相当する指導」であることなど、基本的な考え方を共有できたことは大きな成果だったと思ひます。

そもそも、不登校になる原因としても「学習への抵抗感」「対人関係の不安」などは多くを占めていると思ひます。そして、こうした子どもたちの抵抗感や不安の背景には「認知機能の弱さ」「感情統制の弱さ」「対人スキルの乏しさ」などがあると考えられています。不登校を未然に防止するためにも、子どもたち自身にこうした力をつけていくことは大切です。



須崎小学校では「見る」に特化したビジョントレーニング、「写す」「覚える」「数える」「見つける」「想像する」力をそれぞれ育てるコグトレ（タブレットでの体験版も有）、「怒り」の感情をコントロールするアンガーマネジメント、人間関係を築いていくうえで必要とされる「聞く」「話す」「推論する」力をつけるソーシャルスキルトレーニングを、抱える課題に応じて個別で実施しているということでした。

とは言え、こうした対応はすべての学校でできるわけではないでしょう。新たなものを取り入れる余白は残されていません。今回の会に参加した先生方、既に知識を持っておられる先生方を中心に校内で情報を共有していただき、既に現在行っている日々の指導や児童生徒とのかかわりの中に、通級による指導の視点をもっていただけるとよいのではないかと思います。宜しくお願いいたします。